

5 教科に関する質問紙調査より

【国語】

国語の学習に対する意欲等

- ① 「国語の授業の内容はよく分かりますか」の肯定群の中学生は、21年度より減少傾向にあるが、それ以外の質問では、小・中学生とも21年度より肯定群は増加傾向にあることがうかがわれる。ただし、全国に比べ、肯定群がやや少ない。
- ② 「国語の授業の内容はよく分かりますか」の肯定群の中学生は64.9%で全国より5.0ポイント下回り、「当てはまる」の割合も少ない。小学生も肯定群は80.9%あるが、「当てはまる」は35.0%で少ない。
- ③ 「国語の勉強は好きですか」の肯定群は小学生60.4%、中学生53.5%で小中学生とも高くはない。
- ➡ 国語の授業の内容に対して「よく分かる」という意識を小・中学生がもつためにも、学習指導要領国語を踏まえ、学習目標・内容を明確にした授業への改善が必要である。
- その際、小・中学生が自分の言語活動を振り返り、学習目標・内容に照らして学習の成果を確かめる機会を設定し、達成感や学習の有用性を感じることができるよう工夫することで、学習意欲を高めたい。

[肯定群の割合]

児童生徒質問紙調査

()内は、「当てはまる」の数値

質問	小学生			中学生		
	本県	本県-全国	本県22-21	本県	本県-全国	本県22-21
国語の勉強は好きですか 【質問 52】	60.4% (24.4%) ③	-1.7 (+0.2)	+4.8 (+2.7) ①	53.5% (17.9%) ①	-3.7 (-1.9)	-0.3 (+0.3) ①
国語の授業の内容はよく分かりますか 【質問 54】	80.9% (35.0%) ②	-1.4 (-2.0)	+3.3 (+2.8) ①	64.9% (17.3%) ②	-5.0 (-2.9) ②	-0.9 (-0.1) ③
国語の勉強は大切だ 【質問 53】	90.7% (61.1%)	-0.9 (-2.9)	+2.3 (+3.1) ①	86.7% (47.9%)	-2.3 (-4.9)	+2.6 (+4.8) ①
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ 【質問 56】	87.0% (53.4%)	-0.3 (+0.8)	+2.5 (+4.5) ①	77.9% (36.5%)	-3.0 (-2.7)	+1.8 (+4.8) ①

全国学力・学習状況調査における本県の国語の課題に関連するものについて

- ◆ 全国学力・学習状況調査において見られる本県の国語の学力の課題に関連する学習活動を、国語の授業で意識して行っている小・中学生は増加傾向にあるが、「当てはまる」の割合は低い。
 - ◆ 全国学力・学習状況調査において見られる本県の国語の学力の課題に関連する国語の授業を積極的に行っている小・中学校の割合は低い。
- ⇒ **学習指導要領国語を踏まえて、学習目標・内容を明確にしたうえで、本県の課題を認識し、意図的に指導する授業に改善する。**
- その際、小・中学生が、設定された学習目標・内容を意識して言語活動を行うとともに、その目標・内容に照らして自分の言語活動を振り返り、学習したことを認識できるよう工夫する。

「読むこと」に関して

[本県の国語の課題より]

小学校

- ◆ 話や文章の全体の構成や文脈を考えて状況を判断して読む力。
- ◆ 目的や意図に応じて必要な情報を関係付けて読んだり、文章中の登場人物の関係や文と文との関係などを押さえて読んだりする力。

中学校

- ◆ 述べている内容と根拠の関係を考えたり、文章の表現の仕方に注意したりして読む力。

[肯定群の割合]

※「肯定群」…「当てはまる、あるいは、どちらかといえば当てはまる」

児童生徒質問紙調査

()内は、「当てはまる」の数値

質問	小学生			中学生		
	本県	本県-全国	本県 22-21	本県	本県-全国	本県 22-21
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている 【質問 57】	57.3% (17.4%) ^①	-2.8 (+0.2)	+4.3 (+1.8)	41.5% (9.7%) ^①	-4.3 (-1.1)	+3.1 (+0.9)
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいる 【質問 60】	71.8% (30.4%) ^①	-1.6 (-1.8)	+1.5 (+0.4)	62.9% (20.8%) ^①	-0.8 (+0.8)	+4.7 (+2.7)

学校質問紙調査

()内は、「当てはまる」の数値

質問	小学校			中学校		
	本県	本県-全国	本県 22-21	本県	本県-全国	本県 22-21
国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか 【質問 60】	82.3% (23.9%) ^②	-0.7 (+3.1)	-3.7 (+4.7) ^②	79.1% (17.6%) ^②	-5.6 (-3.6)	+4.3 (+2.5) ^②

- ① 国語の授業で「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」「段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいる」小・中学生の肯定群は増加傾向にあるが、多くはない。特に「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」で「当てはまる」の小・中学生は少ない。
- ② 国語の指導として「様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか」で「当てはまる」の小・中学校は増加傾向にあるが、少ない。特に中学校は、全国との差も大きい。

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」に関して

[本県の国語の課題より]

小学校

- ◆話や文章の全体の構成や文脈を考えて状況を判断して話したり、聞いたり、書いたりする力。
- ◆文の論理を考えながら、指示された条件に合わせて書く力。

中学校

- ◆文章の構成を理解して伝えたい内容を適切に書いたり推敲したりする力や、目的に応じた表現の効果を考えて話したり書いたりする力。
- ◆目的や条件に応じ、資料や情報に基づいて根拠を明らかにし、自分の考えや感想を書く力。

[肯定群の割合]

児童生徒質問紙調査

()内は、「当てはまる」の数値

質問	小学生			中学生		
	本県	本県-全国	本県22-21	本県	本県-全国	本県22-21
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している【質問58】	56.9% (16.3%) ①	-1.7 (-1.6)	+2.0 (+0.4) ①	39.9% (8.4%) ①	-2.4 (-0.5)	+3.0 (+0.4) ①
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている【質問59】	68.7% (25.2%) ①	-0.5 (-1.5)	+2.9 (+0.1) ①	54.4% (14.9%) ①	-3.3 (-1.0)	+3.3 (+1.7) ①

学校質問紙調査

()内は、「当てはまる」の数値

質問	小学校			中学校		
	本県	本県-全国	本県22-21	本県	本県-全国	本県22-21
国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか【質問58】	86.7% (18.6%) ②	-2.0 (-3.3)	+2.4 (+3.3) ②	76.8% (7.0%) ②	+0.3 (-9.4) ②	+4.5 (-9.0) ②
国語の授業において、書く習慣を付ける授業を行いましたか【質問59】	89.4% (28.3%)	0 (0)	-1.0 (-5.3) ③	91.9% (22.2%)	+0.8 (-9.5) ③	+2.8 (-4.7) ③

- ① 国語の授業で「意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」「自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている」の肯定群は、小・中学生ともに増加傾向にあるが、多くはない。また「当てはまる」は小・中学校ともに少ない。
- ② 国語の指導として「目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか」の肯定群は、小中学校ともに増加傾向にあるが、「当てはまる」は少ない。特に中学校の「当てはまる」は、21年度より9.0ポイント減少し、全国と比べ9.4ポイント下回っている。
- ③ 国語の授業において「書く習慣を付ける授業を行いましたか」の肯定群は、中学校においては増加傾向も見られるが、「当てはまる」は小・中学校とも減少している。特に、中学校は「当てはまる」の全国との差も大きい。

言語事項に関して

[本県の国語の課題より]

中学校

◆漢字や語句を文脈に即して使う力。

[肯定群の割合]

学校質問紙調査

()内は、「当てはまる」の数値

質問	小学校			中学校		
	本県	本県-全国	本県 22-21	本県	本県-全国	本県 22-21
国語の授業において、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか【質問 61】	97.4% (49.6%)	-0.6 (-2.9)	-0.8 (-1.9)	91.8% (47.7%)	-6.1 (-9.7)	-4.9 (-1.9)
			①		①	①

① 国語の授業において「漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか」の肯定群は小・中学校とも減少傾向にある。特に中学校は、全国との差も大きい。

【算数・数学】

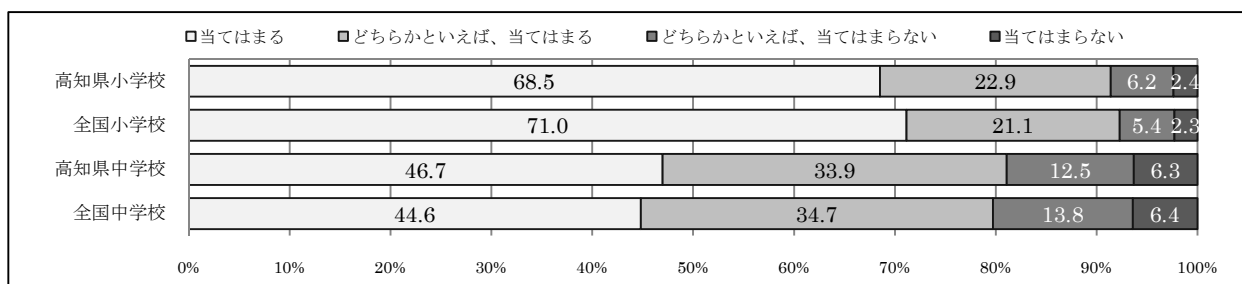
(1) 調査結果

① 算数・数学への関心

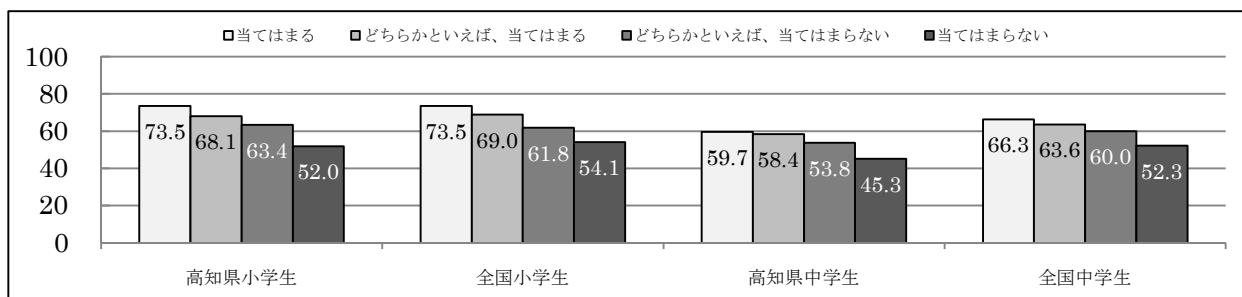
- 算数・数学の学習が大切だと考えている割合は小学生が 68.5%で中学生の 46.7%より圧倒的に多い。
- 算数・数学の授業の内容がよく分かる小学生は 40.8%、中学生は 26.9%で、小学生の方が多。全国と比べ、小・中学生ともほぼ同じである。
- 算数・数学の勉強は大切だと思う、授業内容がよく分かれると回答した小・中学生ほど平均正答率の高い傾向である。

■ 算数・数学の勉強は大切だと思いますか。

[児童生徒質問紙 64]

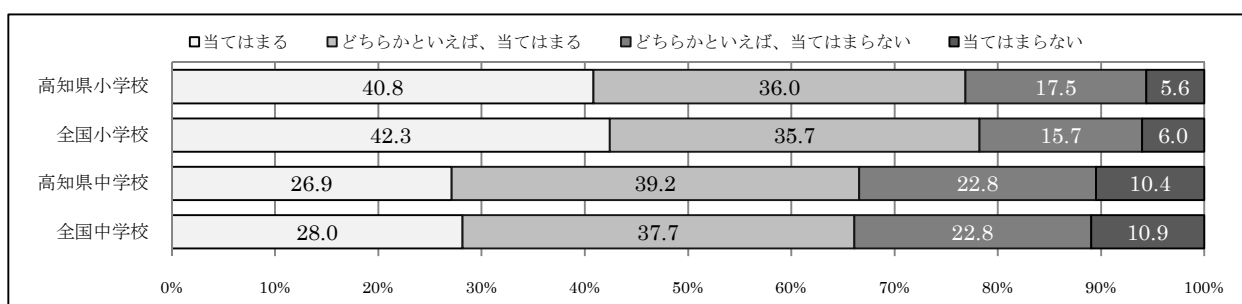


【平均正答率との相関】

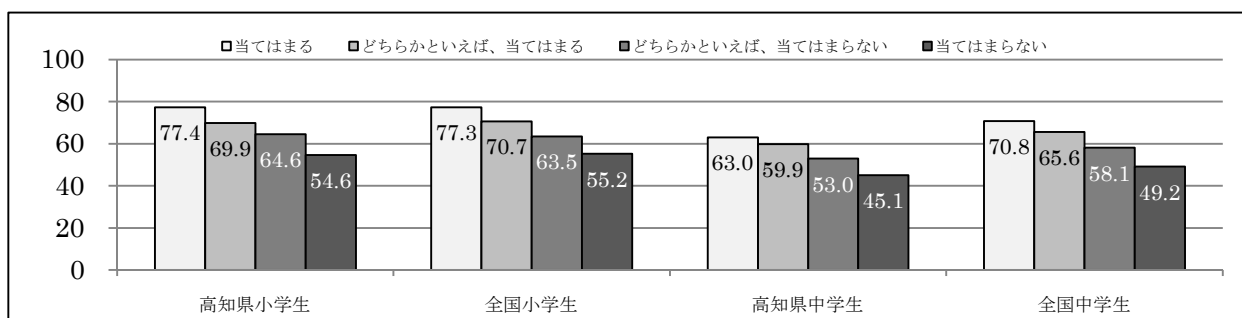


■ 算数・数学の授業の内容はよくわかりますか。

[児童生徒質問紙 65]



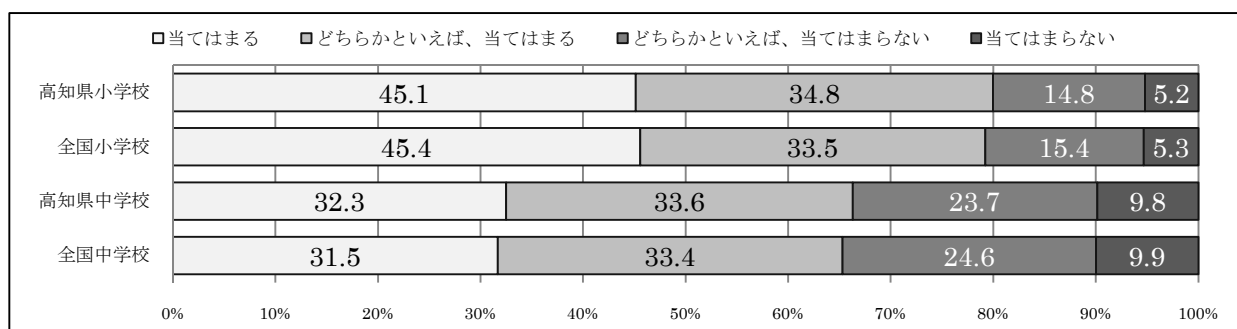
【平均正答率との相関】



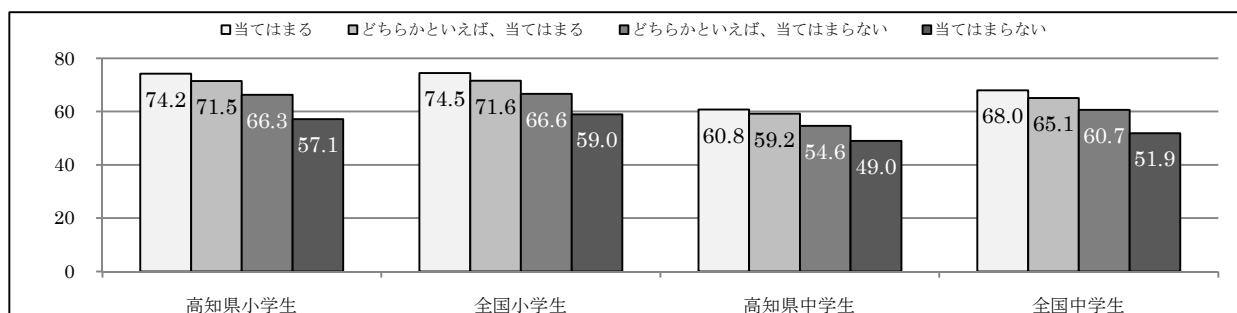
② 算数・数学の授業内容や授業実践

- 算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている小学生は45.1%、中学生は32.3%で、小学生の方が多い。解く方法を考えている小中学生の方が正答率が高い傾向にある。
- 算数・数学の指導で、補充的な指導をよく行った割合は小学校36.3%、中学校36.1%で全国に比べ多い。また、発展的な指導をよく行った、どちらかといえば行った割合は、小学校は54.9%、中学校は54.8%で、全国と比べほぼ同じであり、中学校は昨年度に比べ増加している。
- 実生活と関連づける指導をよく行った、どちらかといえば行った小学校の割合は65.5%、中学校は52.4%で、全国とほぼ同じであり、中学校は昨年度に比べ増加している。

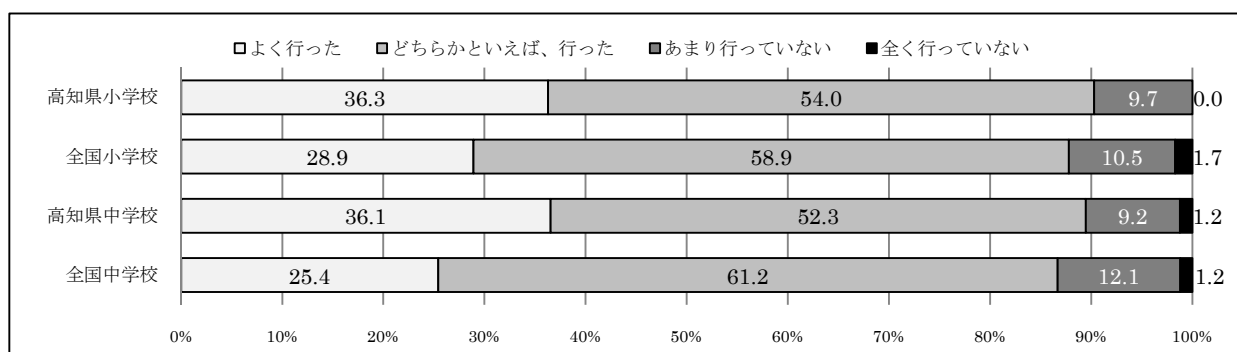
■ 算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか [児童生徒質問紙 70]

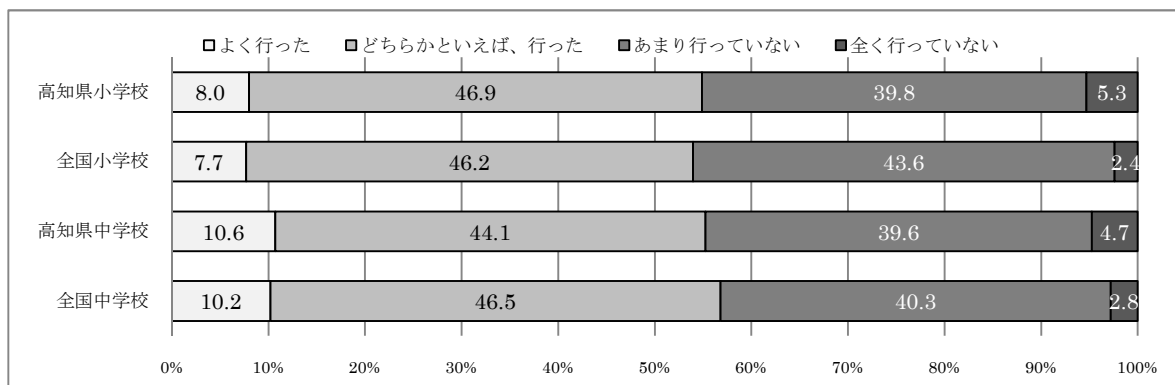


【平均正答率との相関】

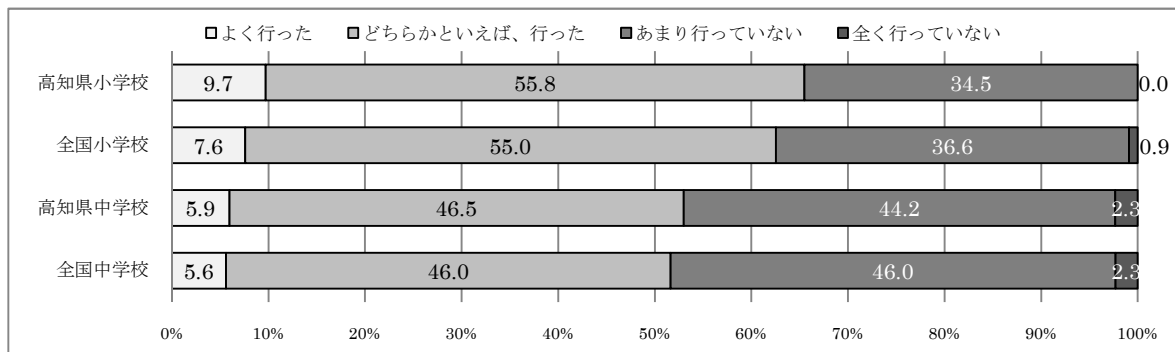
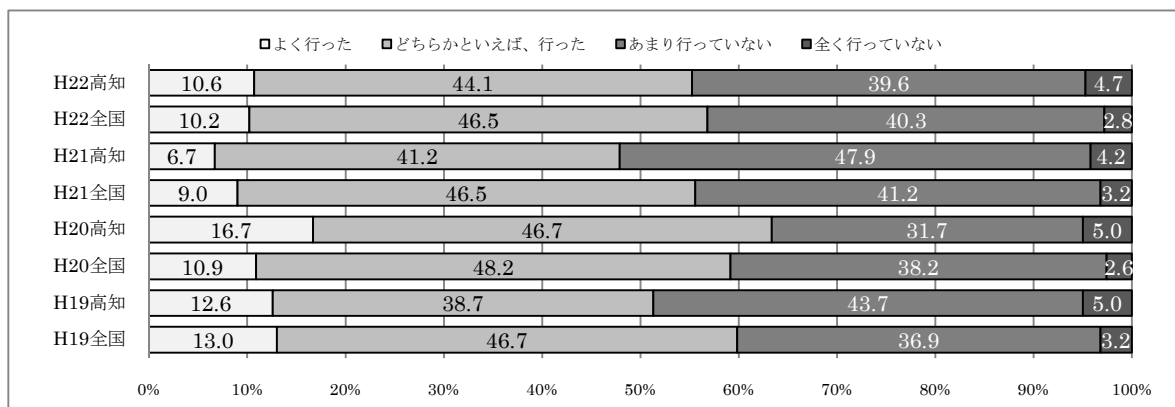


□算数・数学で補充的な指導を行った学校 [学校質問紙 小63 中62]





(中学校経年)



(2) 調査結果の考察

授業内容がよくわかる小学生は40.8%（全国比-1.5ポイント）、中学生は26.9%（全国比-1.1ポイント）で、全国と比べて大きな変化があるとは言えない。しかし平均正答率を比較してみると、中学校においては大きな違いがある。授業のねらいが学習指導要領の目標を踏まえ、適切なねらいであったかどうかの検証が必要になってくる。

算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単な方法がないか考える小・中学生の方が正答率が高い傾向にあり、多様な考え方ができる課題を設定する必要がある。

指導形態に目を向けると、補充的な指導はよく行っている割合に比べ、発展的な指導や実生活との関連を図る指導をよく行っている割合が極端に少ない。基礎基本の学習の中にも、発展的な指導の観点を踏まえた指導を行うことが、小中学生の学習意欲の向上にもつながるだろうし、そのことが授業改善につながっていくと考えられる。